

ref. 5

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-70057

(43) 公開日 平成5年(1993)3月23日

(51) Int. Cl. <sup>5</sup>	種別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 6 B 7/06	B	6573-3F		
11/08	A	6573-3F		
	K	6573-3F		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平3-262534

(22) 出願日 平成3年(1991)8月17日

(71) 出願人 000232955

株式会社日立ビルシステムサービス  
東京都千代田区神田錦町1丁目8番地

(72) 発明者 大野 和重

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株  
式会社日立ビルシステムサービス内

(72) 発明者 松野 貞久

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株  
式会社日立ビルシステムサービス内

(74) 代理人 弁理士 武 頼次郎 (外1名)

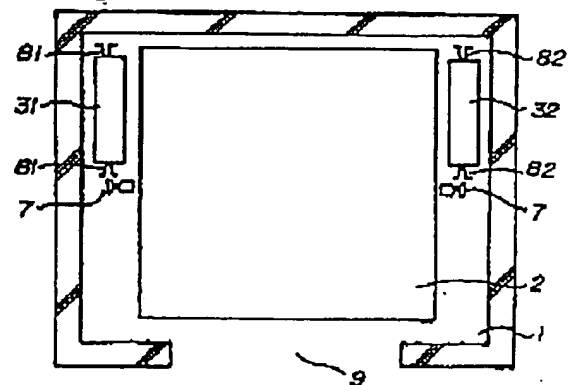
(54) 【発明の名称】 エレベータ装置

(57) 【要約】

【目的】 昇降路面積に対してかごの床面積を大きくする。

【構成】 つり合いおもり31、32が2個設けられ、かつガイドレール7に隣接して、かご2とつり合いおもり31を結ぶ主ロープ61、62にはシープ4Aが係合し、他方つり合いおもり32とを結ぶ主ロープ63、64にはシープ5Aが係合し、かつシープ4Aとシープ5Aとは互いの回転軸が交差する。

【図1】



BEST AVAILABLE COPY

示す平面図である。

【図3】シーブと主ロープとの鉛直面内の位置関係を示す図である。

【図4】従来の昇降路の水平断面図である。

【符号の説明】

1 昇降路

2 かご

\* 3 (31、32) つり合いおもり

4、5 巻上機

4A、5A シーブ

6 (61、62、63、64) 主ロープ

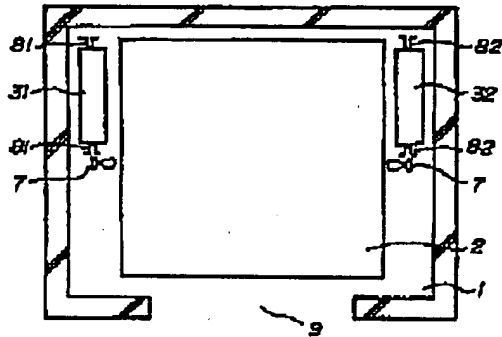
7 ガイドレール

8 (81、82) ガイドレール

\* 9 乗場

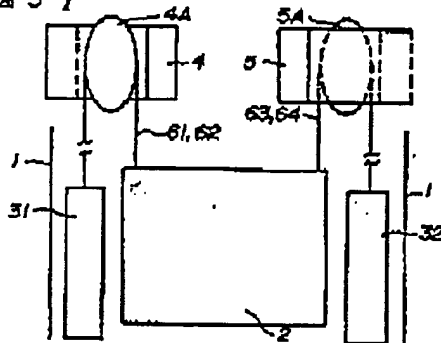
【図1】

【図1】



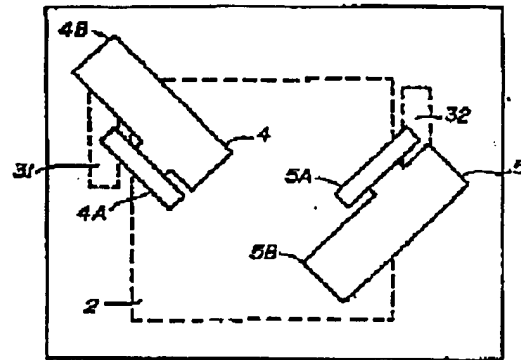
【図3】

【図3】



【図2】

【図2】



【図4】

【図4】

